

大阪城

2023
8/10 (木)
14378号

全港
西成
分會

2247
6649-
4947

関西にはあまり影響はなかったが台風も号は
沖縄・九州方面をいっぺりきたりして北方の消えた
よりだ。6号の東海上で7号が生まれ本州にむか
ているようだ。8月中旬をしのげば熱い山場
を越え秋を思い見通せるようになるのだろう。
8/18にはバイデン米大統領の引退で日米韓首脳
の会議があるようだ。中国を包囲する作戦に日
韓の力を利用しようとするアメリカの戦略の一つだろ
う。このアメリカの戦略と方向性、方法論は170年
ほど前のペリ黒船到来から変わっていない。途中
中米が協力して日本の中国侵略と戦う時もあった。
そのペリ黒船の時代はアメリカもイギリスから独立し
植民地解放戦争を勝ちぬき若々しかった。しかし
今は80歳のバイデン大統領に象徴されるように
高齢で年老った国の競争になつてきている。

88回目の敗戦の日。8/15がやってきました。

アメリカにつき従うより選択肢がない政治は頭の
中ですが地球の連や日本社会の現実とはそんな枠
組みからはおぼろげにしています。明治維新でつくり上げ
られた国の形も今の社会の条件にはあやなくなつて
きている事件が生まれしています。時と時代の大河の流れ
を思いこめるのも8/15の力かもしよません。

盆の休みにはいります。

暦の上では8日が立秋

「秋」なのに一年で一番暑いとき

季節を分ける役割をもつ「春分・夏至・秋分・冬至」は「二至二分(にしにぶん)」と呼ばれ、四季のはじまりを表わす「立春・立夏・立秋・立冬」の「四立(しりゅう)」と共に、古より特に重視されてきました。

天文学上の「立秋」は、太陽黄経が135度になる時。暦の上では秋となりますが、暑さはまさにピークの頃。「大暑」を経て、暑さが徐々に和らいでいき、厳しい暑さの峠を越す「処暑」を迎えるまでの時期が「立秋」にあたるのです。夏の暑さが極まり、秋に向けて少しずつ季節が移り変わる兆しを感じてみましょう。

Tenki.jp

盆の連休が12日の土曜日からと言われているので、今日、明日までの現場がおおごとかとおもいます。
35度を超えるが猛暑日が10日2週間も続いたので、心身ともに相当なストレス・ダメージかさなっていると思います。

熱暑・猛暑の現場で
働く仲間のみなさん
御苦労さまです。